



ちば まさ ひと  
千 葉 正 文  
(奥和会)

## ●ごみ減量化運動を推進せよ ●胆沢城跡整備・活用を急げ

**質問** ごみ減量化について、期間を限定し20%削減等の目標を定め全市で取り組むなど、これまでとは違った形でやるべきと考える。今後の取り組みとして推進組織、ごみの有料化。以上の2点を問う。

**市長** ごみの減量化は分別の徹底やリサイクルの推進など取り組んできました。ごみの排出量は平成25年度、可燃ごみ2万600トン、不燃ごみ1300トン計2万1900トン（2・3%増）、リサイクル4900トン（10・6%減）です。推進組織については、今後も奥州市公衆衛生組合連合会や奥州めぐみネット等の団体に協力をいただきごみ減量化を進めていく。ごみの有料化については、現時点で有料化は考えていないが、岩手県内の市町村が参加し定期的にごみの有料化の研究会が開かれているので奥州市も参加し研究は進めたいと考える。

**質問** 胆沢城跡第1期整備工事として、外郭南門地区の整備が

ほぼ完了しようとしている。計画変更がないか伺う。また、整備完了後の活用については、市、教育委員会が中心となり、埋蔵文化財調査研究センター、地元と協議し計画を早めに作成すべきと考えるが。

**教育委員長** 昨年8月の胆沢城跡整備活用委員会の指摘により、さらに発掘調査を行う必要があり、外郭南門地区の供用開始は1〜2年遅れることになる。整備後の活用計画については、整備活用委員会、地元等の意見を聞きながら早めに作成する。



有効な活用が求められる胆沢城跡整備(水沢区)



さとう くに お  
佐 藤 邦 夫  
(市民クラブ)

## ●2期目小沢市長の市政運営を問う

**質問** 市長職は激務でいろいろな面で風当たりが強く大変である。このたびの選挙では新人候補者が善戦したが、この事実を謙虚に受け止め「合併して正解だった」と言われるような市政運営のために尽力していただきたい。そのためには副市長を含む特別職は市長が自分が選挙で掲げた「マニフェスト」を何があってもやり遂げるために必要とする人物を提案したらいいと思うし、各支所に配置する職員の人事にも細心の気配りをし、合併5市町村がそれぞれ活力ある地域にすることが大事だと考える。さらには元気になるための「成長戦略」が必要だと断言できる。個人的には「ふるさと納税」を江刺愛宕振興会とか、江刺ふるさと市場などの団体と一緒に進めることも一つの「グッドアイディア」だと思うが、どうか。

**市長** 先の選挙の結果では多くの方からの支持とともに、一方で多くの批判票も頂いたと真摯に受け止め、二期目の市長職を全身全霊で邁進する覚悟である。財政再建などの市政課題を速やかに解決するためにも、副市長人事は早めに提案したい。また支所職員はその地区の歴史、文化や地理、人にも詳しい、そして地域からも信頼のある職員を配置するように努力していきたい。成長戦略は今6次産業化を進めている最中である。提案のあった「ふるさと納税」についても地域や団体と協力できるような方向で、実現に向けて模索していきたい。



新鮮で安全・安心な農産物を届ける江刺ふるさと市場